

第2回

市民ワークショップの結果をお知らせします

8月27日（日）篠ノ井公民館で、2回目の「篠ノ井地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

今回のグループ討議では、第一部で「公共施設で出来ること、今までしたこと」を出し合い、続く第二部で「私たちが公共施設でしたいこと」を考え、次回のワークショップで中心的に考える施設をグループ毎に決めていただきました。

参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

グループ討議の内容を紹介します

第1回WS

◇オリエンテーション

①「篠ノ井駅周辺で知っている公共施設を出し合おう」

（ねらい：篠ノ井駅周辺に公共施設がたくさんあること、使ったことが無い施設があることを再認識する） **グループ意見発表**

第2回WS

①「公共施設で出来ること、今までしたことを出し合おう」

②「私たちが公共施設でしたいことを考えよう」

（ねらい：全体テーマである南部図書館移転改築や篠ノ井駅周辺活性化の視点から、公共施設でしたい活動や、こんな施設にしたいといった意見を出し合う） **グループ意見発表**

第3回WS（予定）

①「グループで取上げたい施設を中心に、周辺施設の機能集約化を考えよう」

②「篠ノ井駅周辺の再配置計画(案)を考えよう」

（ねらい：堤先生の再配置の提案も参考にしながら、一定のエリアで再配置計画の提案をまとめていく） **グループ意見発表**

第4回WS（予定）

①「他のグループの意見発表も参考に、再配置計画(案)をまとめよう」

◇各**グループ意見発表**

◇講評・まとめ、記念写真撮影



人生の大先輩の皆さんが熱く語り合うAグループ



大学生から中学生まで参加したEグループの発表

ワークショップの結果、篠ノ井の公共施設に対するご意見・ご質問などありましたら、遠慮なくお聞かせください。

第3回と第4回のワークショップの結果は、来月、お知らせ(回覧)します。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

篠ノ井支所 電話：292-2590



日程により1回目と2回目の結果を一緒に回覧しています

「私たちが公共施設でいたいこと」



各グループから発表された主な意見をご紹介します

【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

◆取上げたい施設⇒南部図書館

◇本の交換会、展示会、発表会など交流の場になる施設にしたい。こども広場を一体整備したり、学校に通えない子どもの居場所に使える施設にして世代間交流を。

◇篠ノ井駅の東西をつなぐ自由通路は、自転車に乗って通行できるようにしたい。

◇公民館の部屋が足りない。市が駅前の空き家を借り上げて利用できないか。カフェも欲しい。

【Bグループ】 人生の先輩の皆さん

◆取上げたい施設⇒南部図書館と学校施設

◇利用者がくつろげる、まちの縁側的な施設に。休館日・夜間の利用も出来る図書館にしたい。

◇コンビニエンスストア機能もあると便利。学校の図書館とネットワーク化できないか。

◇図書館は篠ノ井だけの施設ではない。ワークショップの議論を活かし、じっくり検討を。

【Cグループ】 お父さん・お母さん世代の皆さん

◆取上げたい施設⇒南部図書館と保健センター機能

◇図書館にカフェや読み聞かせのできる個室などを。館長を公募し積極的運営を。時間延長も。

◇保健センターが遠いので、篠ノ井駅前にセンター機能があると便利。0歳児のお母さんが集えピラティスなどもできる場所にしたい。今のこども広場は部屋も駐車場も狭いので改善したい。

◇児童センターで学習支援や食事ができれば。屋外市民プールが屋内プールになれば良い。

【Dグループ】 これからのリーダー・若手の皆さん

◆取上げたい施設⇒まちづくりの拠点となる新しい図書館

◇本を借りるだけではない誰もが使える場所に、フリーマーケット、ミュージカルもできれば。

◇医療・教育・スポーツ・商店街など、茶臼山からUスタジアムまで繋がる篠ノ井のまちを見据えた、多彩な活動が行われる図書館に。そのためには行政だけではなく市民参加の運営が必要。

◇こども広場との連携、大学との連携やインターネットを活用した事業を。

【Eグループ】 大学生～中学生の皆さん

◆取上げたい施設⇒学校施設を活用した再配置

◇学校には、普通教室だけでなく、体育館・校庭・音楽室・家庭科室・視聴覚室など、さまざまな機能を持つ施設がある。スポーツ、バザー、アスレチックなど大人や小さな子どもに社会開放すれば色々な活動が可能になるのでは。

◇こども広場を社会開放、逆に学校をこども広場として活用する。老人福祉施設と複合化できれば多世代交流できる。ただし、学校を複合化・多機能化するにはセキュリティーの確保が必要。

◇学校図書館を活用し移動図書館サービスが充実すれば、施設としての図書館は要らないかも。

【堤先生のアドバイス】 ワークショップの限られた時間の中では難しいが、

★ワークショップの中で、今ある公共施設の使い方を考える・・・もっと活用できる方法はないか、こんな使い方でもできるのではないか。

★公共施設の運用方法を考える・・・いろいろな使い方を、どうやったら実現できるか。自分たちに何が出来るのか。

★公共施設はみんなのものだから、意識を持って話し合おう。

☆ワークショップにおける各グループの意見や、配布資料などは、[長野市ホームページ](#)>公共施設マネジメント推進課>篠ノ井地区ワークショップ に掲載していますので、ご覧ください。